

乳幼児期の各種健康診査における職員配置について

千葉 良*1、柳川 洋*2、高野 陽*3

要 約：乳幼児期の健診の効率的実施における各職種の配置員数について検討した。その際、対象の条件、地域の地理的条件・マンパワーの条件に加え、健診に求められる目的や条件によって適切なものであることが必要であろう。また、専門職の配置が困難な場合にはどの職種によって補完すべきなのかの検討も重要な課題となり、保健婦の存在はその意味でも大きい。

見出し語：乳幼児 健康診査 配置員数 専門職種

研究方法：各地の現行の乳幼児期の健診における専門職の配置は、健診の是非にも影響する重要な問題である。今回、乳幼児期の各種の健診の実施にあたっての、望ましい配置について、市町村の人口規模や健診の内容との関連で別個に検討したが、これをまとめた形で必要な員数を求めることとした。この場合、今日の育児環境の実態から、健診に育児支援を基盤におくことが望ましいと考えられ、この育児支援を内容に加えて検討することとした。

方法は、柳川等と千葉等の研究者の

個々の研究結果を持ち寄って、その両者の調査結果に基づいて、小児科学的視点からの評価を加えて検討することとした。すなわち、対象数の基盤ともなる人口規模別に検討された員数と育児支援に重点をおいた健診の方法について検討した結果、求められた員数との対比によって求めることにした。

結 果：各健診別に推計されたそれぞれの1回当たりの員数を職種別に提示する。なお、医師・歯科医師は対象1人当たり20～25人を担当し、時間は3時間を基準とする。

*1仙台赤十字病院

*2自治医科大学

*3国立公衆衛生院

(1) 乳児健診

- ・医師：1～3人
- ・保健婦：3～7人
- ・栄養士：1人

(2) 1歳6カ月児健診

- ・医師：1～3人
- ・歯科医師：1～2人
- ・保健婦：3～7人
- ・歯科衛生士：1～3人
- ・栄養士：1人
- ・心理：1人

(3) 3歳児健診

- ・医師：1～3人
- ・歯科医師：1～2人
- ・保健婦：4～7人
- ・歯科衛生士：1～3人
- ・栄養士：1人
- ・心理：1人

この場合、栄養士、歯科衛生士、心理関係者等の専門職種の内いずれかが配置されない状況においては、少なくとも保健婦を1人増加させる。

これらの数値はあくまでも試算であり、地域の人口動態統計等の実態や住民の要求する事項やこれまでに把握されている住民のもつ課題に応じて、適切な人材の配置を期待したい。また、当然員数のみならず、これらの専門職種の質的条件も十分に考慮されるべきであり、経験の薄いものが配置されて

いるときには、十分に経験を持つ人材との併用が基本となろう。

なお、個々に示した各専門職の員数は、その市町村の配置すべき員数とは一致しないことを付け加えておく。各地域には個々に示した数より多くの人材の採用を期待する。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要 約:乳幼児期の健診の効率的実施における各職種の配置員数について検討した。その際、対象の条件、地域の地理的条件・マンパワーの条件に加え、健診に求められる目的や条件によって適切なものであることが必要であろう。また、専門職の配置が困難な場合にはどの職種によって補完すべきなのかの検討も重要な課題となり、保健婦の存在はその意味でも大きい。